

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成24年11月1日(2012.11.1)

【公開番号】特開2012-39534(P2012-39534A)

【公開日】平成24年2月23日(2012.2.23)

【年通号数】公開・登録公報2012-008

【出願番号】特願2010-179970(P2010-179970)

【国際特許分類】

H 04 L 12/56 (2006.01)

H 04 L 29/14 (2006.01)

【F I】

H 04 L 12/56 4 0 0 B

H 04 L 13/00 3 1 3

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月13日(2012.9.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0049

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0049】

また、ユーザは、図2に示すように管理用端末PC2を第2スイッチSW2に接続して、図5に示す監視フレーム折り返し設定用ウィンドウW2を管理用端末PC2に表示させる。図5に示すように、設定用ウィンドウW2は、折り返し対象ポートを設定するフィールドと、OKボタンB3とを備えている。折り返し対象ポートとは、監視用フレーム(LHCフレーム)を受信した場合に、LHCフレームの送信元に対して監視応答用フレーム(LHCBフレーム)を送信する処理(フレームを折り返す処理)を実行する対象ポートを意味し、図5では、第1ポート(ポートP21)が入力されている。ユーザが折り返し対象ポートを入力しOKボタンB3を押すと、入力された折り返し対象ポートが第2スイッチSW2に設定される。なお、図5に示す監視フレーム折り返し設定用ウィンドウW2は、請求項におけるユーザインターフェースに相当する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0062

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0062】

フレーム種別判定部41bは、レイヤ2制御部22bから通知された宛先MACアドレス及び折り返し識別子に基づき、フレーム種別を判定する(ステップS230)。宛先MACアドレスが監視用のMACアドレスであり、折り返し識別子がLHCフレームであることを示す値である場合には、受信フレームはLHCフレームであると判定される(ステップS240)。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0064

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0064】

ステップ320が実行された後、図11に示すように、ポート状態判定部44bは、受信フレームが通常フレームであるか否かを判定する（ステップS410）。LHCフレームを受信した場合、通常フレームでないと判定され（ステップS410：NO）、この場合、ポート状態判定部44bは、宛先検索部42bから通知された折り返し識別子書き換え指示及び出力ポート、又は廃棄指示及び受信ポートを、判定結果生成部46bに通知する（ステップS460）。前述のように、LHCフレームを受信した場合、折り返し識別子書き換え指示及び出力ポートが宛先検索部42bから通知されるので、ポート状態判定部44bは、これら折り返し識別子書き換え指示及び出力ポートを、判定結果生成部46bに通知する。なお、廃棄指示及び受信ポートは、後述するように、受信フレームがLHC Bフレームである場合に通知される。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0065

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0065】

判定結果生成部46bは、通知された折り返し識別子書き換え指示及び出力ポート、又は廃棄指示及び受信ポート、又は出力ポート、のいずれかを含む宛先判定結果をレイヤ2制御部22bに通知する（ステップS470）。前述のように、LHCフレームを受信した場合、判定結果生成部46bは、折り返し識別子書き換え指示及び出力ポート含む宛先判定結果を、レイヤ2制御部22bに通知する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図11

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 11】

